

基本目標 2

安心して生活できる社会づくり

- 2-1 快適で安全な住まい環境を実現する
- 2-2 いきいきと健やかな生活を支援する
- 2-3 夢を持って学び働ける環境をつくる

外国人市民の多くが、医療、保健、福祉、教育など日本で生活する上で必要なさまざまな制度について十分な情報が得られておらず、行政サービスを利用しにくい状況にあります。外国人市民が安心して暮らせるように各分野で支援を行います。

2-1 快適で安全な住まい環境を実現する

誰もが安心して快適な生活を送るためには、日本人市民にも外国人市民にも住みやすいまちづくりや環境づくりを意識した取り組みが必要です。

住まいや環境美化活動に関する情報提供や取り組みを拡充し、防災や安全に対する情報周知の充実に努め、誰もが住みよいつ感じられる“住まい環境”の実現を推進していきます。

【現状と課題】

- 多くの外国人市民に、生活のルールなどについての情報提供が必要とされています。
- 市役所や支所・出張所内に回収箱を設置して、牛乳パックや蛍光管のリサイクルを呼び掛け、有害ごみである使用済み乾電池の回収をしています。また、環境推進大会、パネル展、出前環境教室などの美化啓発活動を行ったり、ゴミ処理施設見学会を行ったりしています。
- 上尾市に転入した外国人市民に対し、「上尾市防災マップ」を配布しています。防災マップは日本語と英語で表記されていますが、外国人市民の中には緊急避難場所を知らなかったり、非常時に備えて用意しておくものが分からなかったりする人もいます。
- 防災に関する情報の提供が不十分なため、災害に対する対応に不安を感じている外国人市民も少なくありません。情報周知の方法を拡充する必要があります。


【目標（成果指標）】

指標名	現在値	目標値
防災についての情報提供に対する満足度 ¹	77%	87%

¹防災についての情報提供に対する満足度 外国人市民向けアンケート（平成23年実施）から。

【具体的な取り組み】

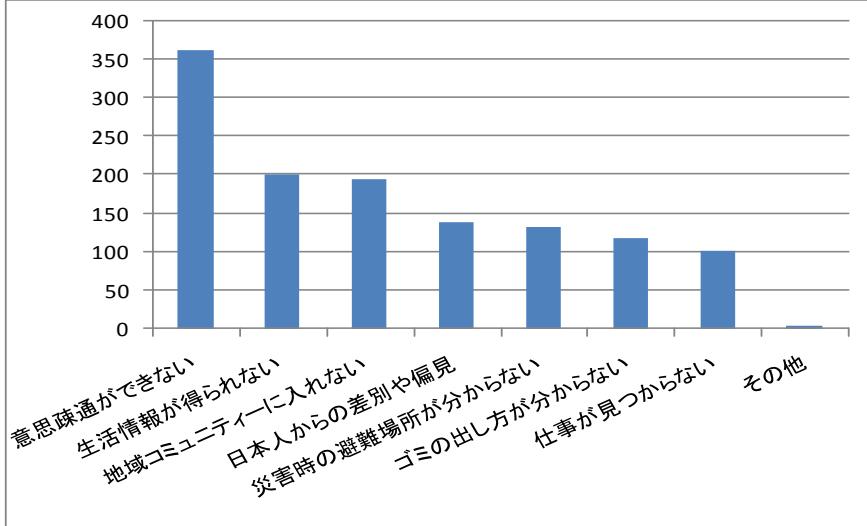
 重点事業

番号	取り組み	現在	目標	主体
16	入居に伴う説明の充実	【新規】	生活ルールなどを外国人市民に理解してもらうため、入居説明シートの配布や「県外国人住まいサポート店 ² 」の活用を促進します。	市民協働推進課
17	ゴミ出しマニュアルの充実	外国人市民の転入時に、4カ国（英・中国・スペイン・ポルトガル）語に対応したゴミ出しマニュアルを配布しています。	イラストを多く盛り込むなど、内容の充実を図り、外国人市民にも分かりやすいマニュアルを目指します。	西貝塚環境センター
18	リサイクル事業の推進	【新規】	関係各課やAGAと連携して、外国人市民に対しても、リサイクル施設の見学や環境美化啓発活動への参加を呼び掛けます。	西貝塚環境センター 環境政策課 生活環境課
19	防災マップの充実	外国人市民の転入時に、日本語と英語を併記した防災マップを配布しています。	イラストを多く盛り込み、緊急時の避難先や携行品などを外国人市民にも分かりやすいように工夫します。	危機管理 防災課
20 	防災意識の啓発	【新規】	外国人市民向けイベントでの防災チラシの配布や、メールマガジンの配信により、防災意識を高めます。	危機管理 防災課 AGA 自治会(自主 防災組織)
21	防犯・交通安全活動の啓発推進	上尾警察署と連携した地域防犯・交通安全活動に取り組んでいます。【活動回数/年2回】	上尾警察署との連携を強化し、外国人市民向けイベントなどを活用し、積極的な防犯活動を展開します。【活動回数/年3回】	交通防犯課 AGA 上尾警察署

²県外国人住まいサポート店 住居に関する情報を必要としている外国人住民への情報の提供及び助言を行うため、外国人住民の住まい探しに協力できる不動産業者の登録制度（県主催）。

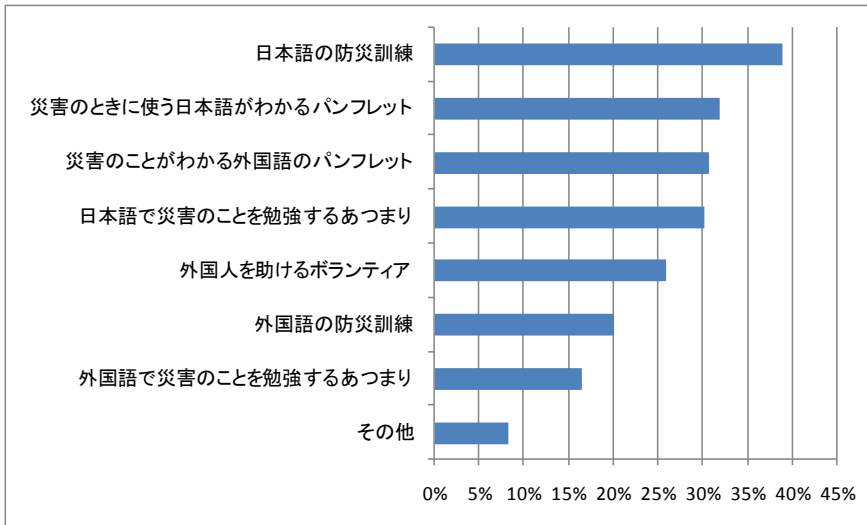
●各種アンケート結果から

【図14】外国人が困っていると思われること（人）



(市職員向けアンケートから)

【図15】災害の準備のために何がほしいですか？



(県外国籍県民県政モニターアンケート〈平成23年度第1回〉から)



防災マップ（左端）、ゴミ出しマニュアル

2-2 いきいきと健やかな生活を支援する

公的医療保険に加入する必要がある外国人市民の中には、保険に加入していない人もいます。保険に加入していない場合、医療費が高額となるために未払いとなったり、重症化するまで受診しなかったりすることがあります。このような事態を未然に防ぐには、保険に関する啓発・情報提供が必要となります。

また、日本語能力が十分でない外国人市民については、医療機関での受診が円滑に行われない場合があり、多言語による対応が求められます。

さらに子どもを安心して産み育てるために、多言語による情報提供や交流できる場が必要になります。

【現状と課題】

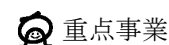
- 市は、外国人市民に対し、公的医療保険・年金の加入の必要性や手続きについての情報提供や、さらなる加入を促進させることが必要です。
- 医療機関での受診に困らないよう、特に医療・保健・福祉分野では、県国際交流協会や関係課と連携して多言語による情報提供が必要です。
- 医療・保健・福祉分野の相談ができない人のために、通訳ボランティアが必要です。
- 外国人市民の保護者の交流や、子育てを円滑に進めるための場所や機会が必要です。
- 外国人市民が日本（上尾市）の社会保障制度を知る機会がないために、十分な社会保障を受けられない可能性があります。

【目標（成果指標）】

指標名	現在値	目標値
保険・医療に関する情報提供への満足度 ³	65%	75%

³保険・医療に関する情報提供への満足度 外国人市民向けアンケート（平成23年実施）から。

【具体的な取り組み】



番号	取り組み	現在	目標	主体
22	「あげお暮らしのガイド ⁴ 」の多言語化	「あげお暮らしのガイド」を4カ国（英・中国・スペイン・ポルトガル）語でHPに掲載し、転入時に配布しています。	外国人市民の意見を参考にし、生活に必要な情報を取り上げ、内容を随時更新します。	市民協働推進課
23	「指さし受診シート ⁵ 」の作成	【新規】	「指さし受診シート」を作成し、医療機関での意思疎通をより円滑にします。	健康増進課
24	多言語による保健関連文書の提供	要望に応じて、母子手帳や予防接種予診票の外国語版を提供しています。	乳幼児健診の通知や各種問診票など、外国人市民に必要な保健関連文書の多言語化を進めます。	健康増進課
25	子育てについての交流・相談の場の充実	【新規】	外国人市民の保護者が安心して子育てできるようにチラシを作成するほか、外国にルーツを持つ家族を積極的に取り込む交流の場を設けます。	子ども支援課 AGA
26	健康づくりの啓発	【新規】	市内医療機関と連携し、やさしい日本語で健康づくりを促進するチラシを配ります。	健康増進課
27 	ボランティアによる通訳サービスの提供【再掲】	【新規】	ボランティアを活用し、行政手続や、学校、保健センター、保育所などでの相談・通訳サービスの提供を検討します。	市民協働推進課
28	国民健康保険・国民年金の個別対応の充実	外国人市民の転入時に、国民健康保険や国民年金の制度について個別に対応しています。	チラシや窓口対応マニュアルの作成により、外国人市民がより理解しやすいよう個別対応を充実させます。	保険年金課
29	外国人市民のための勉強会の開催	日本の税金・年金制度を扱った講座や就職支援講座を開催しています。【勉強会／年2回、参加者13人】	より多くの外国人市民が参加できるよう、受講者の意見を取り入れ、積極的に社会参加を促します。【勉強会／年5回、参加者50人】	市民協働推進課 AGA

⁴あげお暮らしのガイド 上尾市で生活する上で基本となる情報をまとめた便利帳。

⁵指さし受診シート イラスト付きで日本語と外国語で受診時に必要な言葉や症状、予防接種などを示したもの。

2-3 夢を持って学び働ける環境をつくる

外国人市民が学校生活を楽しく送るためには、日本語能力を習得し、授業についていけることが大切です。学校生活の中で日常の言葉を覚えられるよう、日本語学習の充実と保護者への日本語習得の機会を増やすこと、日本の教育制度の周知などが子どもの将来の学業や就労へとつながります。

また、労働についても分かりやすい就職情報の提供や相談体制の整備など、就職活動を支援し、社会保険への加入を進めることが大切です。

【現状と課題】


- 外国人児童・生徒の中には、日本語が話せないことでうまくコミュニケーションが取れないため、授業についていけず学校に通わなくなったり、進学しなくなったりする子どもがいます。
- 外国人市民の中には、就労を希望しても履歴書の書き方が分からなかったり、雇用規則が分からなかったりしたため、トラブルになることがあります。
- 外国人児童・生徒への日本語指導を行っていますが、対象児童の増加による指導員の人員確保が課題となっています。
- 児童・生徒の外国人保護者の日本語能力によっては、保育所や学校などからの連絡事項や子どもの様子が理解できず、ローマ字表記や通訳を介して理解していることがあります。
- 仕事は知人や友人の紹介で見つける外国人市民が多く、市から仕事に関する情報を望む人も多く見られます。

【目標（成果指標）】

指標名	現在値	目標値
教育に関する情報提供への満足度 ⁶	76%	86%

⁶教育に関する情報提供への満足度 外国人市民向けアンケート（平成23年実施）から。

【具体的な取り組み】

 重点事業

番号	取り組み	現在	目標	主体
30 	「取り出し指導」の充実【再掲】	日本語による学習が困難な外国人児童・生徒に対して、取り出し指導を実施しています。	児童・生徒の個性を生かした効果的な指導方法を研究し、全ての対象者に指導員を派遣します。	学務課
31	「取り出し指導」指導員講習会の開催	【新規】	年2回研修会を実施し、指導の現状や課題、方法などの情報を共有し、指導を充実させます。	学務課
32	外国人市民向け相談窓口の拡充【再掲】	毎週月曜日に4カ国（英・中国・スペイン・ポルトガル）語での相談をハローコーナーで実施しています。 【ハローコーナー相談件数／年 302 件】	ハローコーナーとともに外国人総合相談センター埼玉をPRし、積極的に活用します。【ハローコーナー相談件数／年 400 件】	市民協働推進課
33	「高校進学ガイダンス事業 ⁷ 」の紹介	県・県国際交流協会・県産業文化センター共催の外国人住民向け高校進学ガイダンス事業を紹介しています。	取り組みを継続するとともに、積極的な情報の収集と発信を行います。	指導課
34	乳幼児や放課後児童の育成支援	保育所や学童保育所では、やさしい日本語やローマ字の使用で対応しています。必要に応じて、通訳者も依頼しています。	取り組みを継続し、多言語による対応や通訳者のより円滑な活用を図ります。	保育課 青少年課
35	日本で就労するための各種講座の支援	【新規】	外国人市民が日本で継続して就労するために必要な講座を支援します。	市民協働推進課 AGA
36	多文化共生意識の啓発	【新規】	企業を対象とした研修などの機会に多文化共生意識の啓発を図ります。	商工課



取り出し指導

⁷高校進学ガイダンス事業 正式名は「日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス」。外国人住民を対象にした高校進学についての説明会と相談会（県・県国際交流協会・県産業文化センター共催）。